

## [軽吐]トラスツズマブ+カペシタビン療法(1コース目)

外科 管理番号 RSD062

処方医:

適応:乳癌

3週毎に投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
トラスツズマブ	●																						●
カペシタビン 朝		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
カペシタビン 夕	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									●

身長: \_\_\_\_\_ cm 体重: \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] ( \_\_\_\_\_ ) クール目)

Day1( 月 日)

本管	
薬剤名	投与量
【内服】カロナール錠200mg 投与30分前	2錠
生食 250mL トラスツズマブ 8mg/kg [90分* 点滴静注][非炎症性] インフュージョンリアクション注意 特に1~2回目 投与後1時間まで観察	1瓶
生食20mL [静注]	1管

定期的心機能評価

心電図モニター必要時あり

ハーセプチン

Loading Dose

\*トラスツズマブ: 忍容性良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる

Day1夕食後( 月 日)~Day15朝食後( 月 日)

薬剤名	投与量
カペシタビン(B法) 1250mg/m <sup>2</sup>	2×朝夕直後

## [適性使用基準]

1. HER2過剰発現が確認された転移性乳癌である
2. 重篤な腎障害がない
3. 脳転移がない
4. 心駆出率(EF)が測定済みで50%以上である
5. 重篤な心障害がない
6. 心不全症状がない
7. 冠動脈疾患(心筋梗塞・狭心症等)またはその既往歴がない
8. 高血圧症またはその既往歴がない
9. 感染症またはその疑いがない
10. S-1投与中及び投与中止後7日以内の患者ではない
11. PS(Performance Status)が0~1である
12. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

[DLF]

トラスツズマブ: EF

カペシタビン 手足症候群

カペシタビン

腎障害時用量調節

投与前検査	WBC (/μL)	4000以上が望ましい
	Neut (/μL)	2000未満であれば投与を延期して下さい
	PLT (/μL)	10万以上が望ましい
	HGB (g/dL)	11.0≧以上が望ましい
	AST (IU/L)	82.5以下が望ましい
	ALT (IU/L)	105以下が望ましい
	TBil (mg/dL)	1.95以下が望ましい
	Cr (mg/dL)	1.05以下が望ましい
心電図検査	異常がないことが望ましい	
肺機能検査 PO2	60Torr以上が望ましい	

## カペシタビン投与量(B法): 1回用量

体表面積	初回基準量
1. 33m <sup>2</sup> 未満	1500mg
1. 33m <sup>2</sup> 以上1. 57m <sup>2</sup> 未満	1800mg
1. 57m <sup>2</sup> 以上1. 81m <sup>2</sup> 未満	2100mg
1. 81m <sup>2</sup> 以上	2400mg

## カペシタビン

[血液毒性]

各コースの投与開始前に副作用のグレードを確認し、いずれかの事象がグレード3以上であれば休薬する。グレード1以下に軽快後投与基準にしたがい投与再開

[非血液毒性]

各コースの投与開始前に副作用のグレードを確認し、いずれかの事象がグレード2以上であれば休薬する。グレード1以下に軽快後投与基準にしたがい投与再開

## [カペシタビン: 腎障害時の減量の目安と対処法]

Ccr	
51~80	減量不要
30~50	75%減量(減量段階1)
30未満	投与禁忌

カペシタビン減量時の投与量: 1回用量

体表面積	減量段階1	減量段階2
1. 13m <sup>2</sup> 未満	900mg	600mg
1. 13m <sup>2</sup> 以上1. 21m <sup>2</sup> 未満	1200mg	
1. 21m <sup>2</sup> 以上1. 45m <sup>2</sup> 未満		900mg
1. 45m <sup>2</sup> 以上1. 69m <sup>2</sup> 未満	1500mg	1200mg
1. 69m <sup>2</sup> 以上1. 77m <sup>2</sup> 未満		
1. 77m <sup>2</sup> 以上	1800mg	

[DLFを除く重大な副作用]

トラスツスマブ

- ・Infusion reaction: アナフィラキシー様症状、肺障害 [チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下・浮腫等]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血 [出血(紫斑)・立ちくらみ・発熱等]
- ・肝不全、黄疸、肝炎、肝障害 [食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等]
- ・腎障害 [むくみ・尿量低下・検査値異常等]
- ・昏睡、脳血管障害、脳浮腫 [意識障害等]
- ・敗血症 [発熱・皮下出血等]

カペシタビン

- ・脱水症状
- ・手足症候群
- ・心障害
- ・肝障害、黄疸
- ・腎障害
- ・骨髄抑制
- ・口内炎
- ・間質性肺炎